

ちぐさ

千草台公民館だより No.12
千葉市稲毛区天台3-16-5
☎043-255-3032
2026(令和8)年2月27日発行



氷上の熱狂を胸に

寒暖差の激しかった二月も過ぎ、ようやく日差しの温もりに春の訪れを感じる季節となりました。公民館の門の脇にある河津桜もほころんでいます。地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。暦の上では『啓蟄（けいちつ）』を迎え、土の中で眠っていた生き物たちが動き出すように、街全体がどことなく弾んだ空気に包まれています。

さて、先月私たちの心を最も熱く焦がしたのは、イタリアで開催された「ミラノ・コルティナダンペッツォ冬季五輪」ではないでしょうか。連日テレビやインターネットを通じて届けられるアスリートたちの躍動する姿は、私たちに多くの勇気と感動を与えてくれました。氷の上で、あるいは雪原の中で、極限のプレッシャーに立ち向かいながら己の限界に挑む姿には、国境を越えた普遍的な美しさがありました。特に印象的だったのは、競技を終えた選手たちが互いの健闘を称えあい、抱き合うシーンです。勝負の世界ですからそこには必ず歓喜と涙が背中合わせに存在します。しかし、勝利した者が敗者を敬い、敗れた者が勝者を称えるその精神こそが、スポーツが持つ真の力であり、私たちが目指すべき平和な社会の縮図であると感じずにはいられませんでした。今大会では、若手選手の台頭も目立ちました。デジタルネイティブ世代と呼ばれる彼らが、最新のデータ分析やトレーニング理論を駆使しながらも、最後は泥臭い努力と情熱でメダルを掴み取る姿は、時代が変わっても「変わらない大切なもの」があることを証明してくれたように思います。同時に、ベテラン選手たちが経験に裏打ちされた滑りで観客を魅了する姿からは、継続することの尊さと、年齢を重ねることで深まる表現の豊かさを学びました。

この五輪の熱狂は、私たちの日常生活にも素晴らしい刺激を与えてくれます。選手たちがチームメイトやスタッフ、そして家族への感謝を口にするたびに、私たちは一人では生きていけないこと、そして「支え合い」の大切さを再確認します。これは、私たちの住むこの「地域」というコミュニティにおいても全く同じことがいえるのではないのでしょうか。三月は「別れと出会い」の季節でもあります。学び舎を巣立つ若者たち、長年住み慣れた土地を離れる方、そして新しくこの街の仲間入りをする方。環境の変化は時として心に小さな揺らぎもたらします。しかし、五輪の選手たちが異国の地で仲間と支え合ったように私たちもまた、隣近所での何気ない挨拶や公民館での小さな集いを通じて互いの心を温め合うことができるはずです。

また、今月は東日本大震災から15年という大きな節目を迎えます。五輪で見た「団結の力」を今一度、地域の防災や助け合いの形として見つめ直す機会にしたいものです。災害はいつやってくるかわかりませんが、日頃からの顔の見える関係こそが、いざというとき時の最大の備えとなります。

「三寒四温」を繰り返しながら一步步確実に向かってくる春。皆さまもぜひ、散歩のついでに公民館へお立ち寄りください。五輪の感想を語り合うもよし、新しい趣味の扉を叩くもよし。新しい出会いが皆様を待っています。季節の変わり目、体調管理には十分ご留意いただき、晴れやかな春をお迎えください。

<<裏もあります>>

< 3月の公民館主催行事について >

本年度最後の主催事業です。皆様お誘いあわせの上、「落語」を楽しんで下さい！

★ 春は落語を楽しもう

- (1)日 時 令和8年3月14日(土) 開場 13:00
開演 13:30 15:30 (終演予定)
- (2)人数・費用 抽選 20名 **無料!**
- (3)申込方法 3月2日(月)～8日(日) 窓口・電話・HPにて
窓口・電話受付は9:00～17:00

★ 押し花の世界を楽しむ

- (1)日 時 令和8年3月20日(金・祝) 13:30～15:30
- (2)人数・費用 抽選 10名 **材料費:2000円**
- (3)申込方法 3月2日(月)～8日(日) 窓口・電話・HPにて
窓口・電話受付は9:00～17:00

※抽選後、受講決定者にのみ通知を致します。